



お世話になった担任の先生と思い出の校舎の前で最後の卒業生をパチリ！

# さようなら...赤羽根校舎

成章高等学校赤羽根校舎が閉校 56年の歴史に幕



もりした えみ こ  
お別れの言葉として森下恵美子さん(成章会赤羽根部会長)は「母校がなくなってしまうのは悲しい」と述べました



かべ や にしかわ まさし  
校旗が壁谷校長から卒業生の西川将司さんに手渡され退場



平成18年3月2日(木)愛知県立成章高等学校赤羽根校舎で「卒業式・閉校式」が同校体育館で行われ、卒業生29名のほか、同窓生約200名などが出席し、思い出が刻まれた学び舎に別れを告げました。

赤羽根校舎は、少子化の影響や地元中学校からの入学者の減少により、県の再編計画で平成16年度からの入学募集が停止されました。地元では存続運動も起こりましたが、時代の流れには勝てず、56年の歴史に幕を閉じることとなりました。



- 昭和24年 私立和敬女子専門学校として開校
- 昭和26年 成章高等学校赤羽根分校昼間定時制
- 昭和37年 定時制から全日制に
- 昭和62年 家政科から普通科に改編(男女共学に)
- 平成8年 赤羽根分校から赤羽根校舎に
- 平成18年 閉校